



2025 年 10 月 10 日

各 位

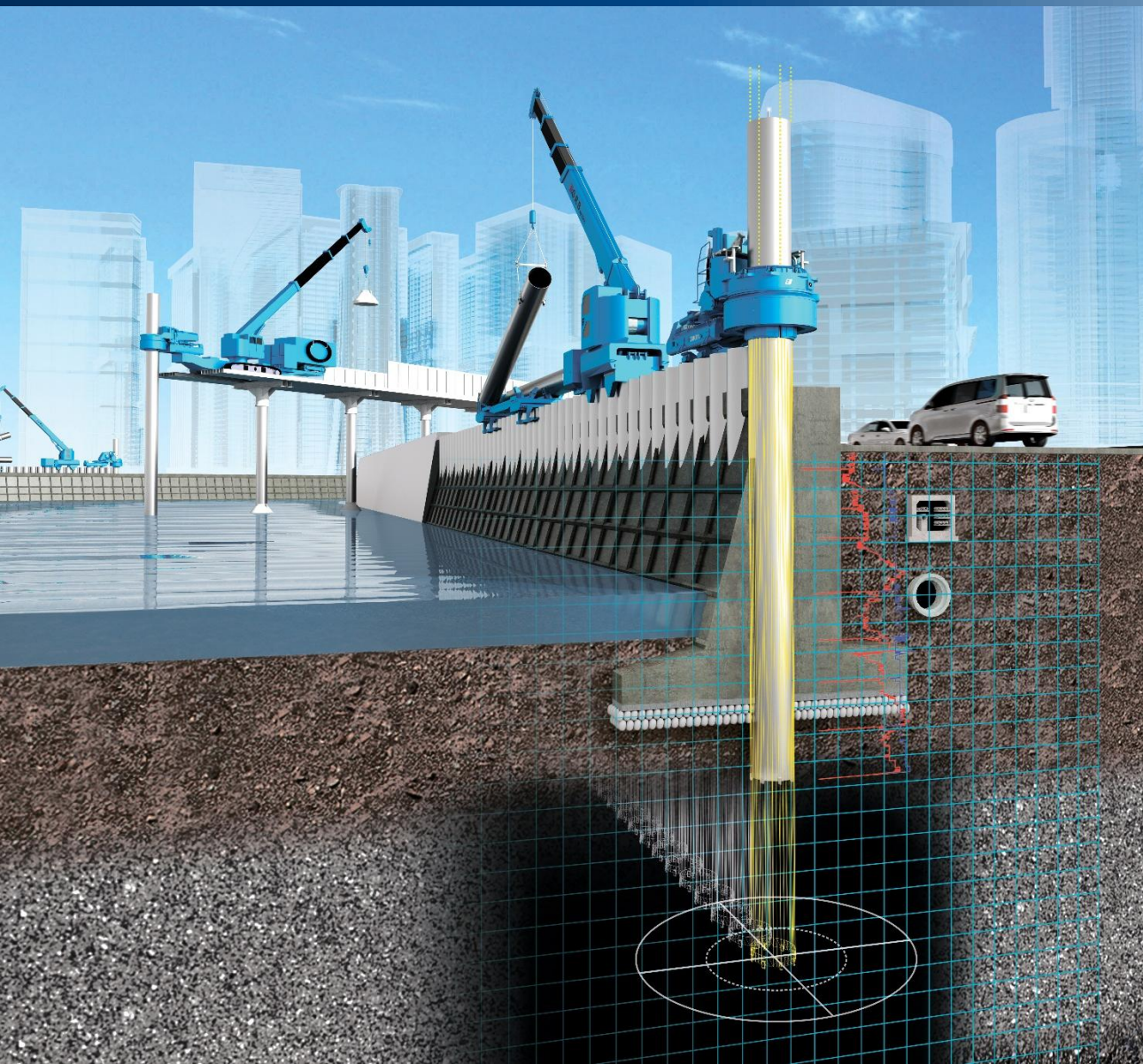
会 社 名 株式会社 技研製作所
代表者名 代表取締役社長CEO 大平 厚
(コード番号 6289 東証プライム市場)
問合せ先 常務執行役員 田内 剛
(TEL. 088-846-2933)

2025 年8月期 決算説明資料に関するお知らせ

2025 年 8 月期の決算概要および 2026 年 8 月期の通期業績予想等の説明資料を作成いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上

2025年8月期（2024年9月～2025年8月）



 **GIKEN**

株式会社 技研製作所
決算説明資料

2025年10月10日
証券コード:6289

本資料において提供される当社および当社グループの現在の方針、経営戦略などの情報のうち、歴史的事実でないものは、将来に関する記述をはじめとする、現在入手可能な情報をもとに構築したいわゆる「見通し情報」を含みます。これらは見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、各国の経済状況や業界ならびに市場の景況、金利や物価、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

本資料において提供される情報は、いかなる情報も投資勧誘を目的に作成したものではありません。投資等に関する最終ご判断は、利用者ご自身の責任において行われるようお願いいたします。なお、本情報を参考・利用して行った投資等の一切の取引の結果につきましては、当社では一切責任を負いません。

目次

I.業績関連

■2025年8月期決算概要 P 3

■2026年8月期業績予想 P13

■株主還元 P20

■トピックス P22

II.参考資料 P31

2025年8月期 決算概要

(1) 全社－減収減益

- ◎建設機械事業の落ち込みにより売上高、営業利益は減少
- ◎上記に加え、元海外連結子会社との和解に伴う特別損失の計上により、当期純利益は大幅減

(2) 建設機械事業－減収減益

【売上高】

- ⊖国内市場は減収
建設コスト上昇やそれに伴う施工量の減少、技能労働者不足からユーザーの設備投資が減速
- ⊕海外市場は増収
海外GTOSS会員を中心に製品販売が進捗し、過去最高水準の売上高を達成

【営業利益】

- ⊖国内売上減少の影響が大きく、減益

(3) 圧入工事業－増収減益

【売上高】

- ⊕国内市場・海外市場ともに増収
能登半島地震の復旧工事や国土強靱化関連工事、エコサイクル設置工事等が進捗

【営業利益】

- ⊖付加価値の高い開発型案件の減少により減益

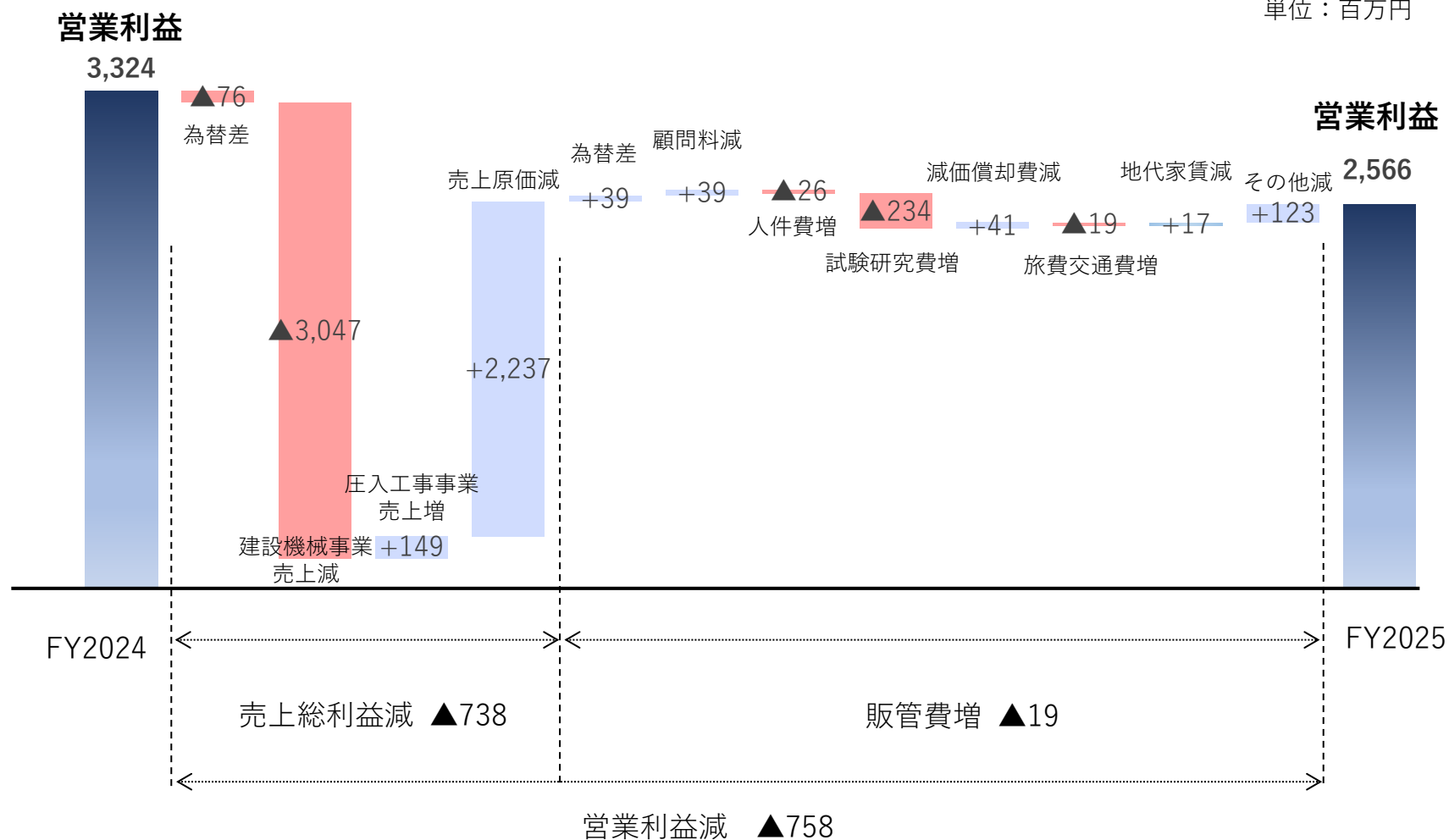
単位：百万円

	FY2024	FY2025	前期比
売上高	29,481	26,337	▲10.7%
売上総利益	10,867	10,129	▲6.8%
販管費	7,543	7,563	+0.3%
営業利益 (営業利益率)	3,324 (11.3%)	2,566 (9.7%)	▲22.8%
経常利益	3,582	2,732	▲23.7%
特別損益	▲811	▲853 [※]	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,437	1,487	▲39.0%
1株当たり純利益	90.99円	55.74円	▲38.7%

※ 元海外連結子会社との和解に伴い、訴訟関連損失および貸倒引当金繰入額計812百万円を特別損失として計上

FY2025決算概要－営業利益増減

単位：百万円



■建設機械事業

【売上高】

⊖国内は、一般機の販売が落ち込み減収

⊕海外は、GTOSS会員と連携した市場拡大を受け、オランダ、ドイツ、イギリス、イタリアで製品販売が進捗。大型特殊機の販売集中もあり、過去最高水準の売上高を達成し、増収

【営業利益】

⊖国内売上高の減少により減益

単位：百万円

	FY2024	FY2025	前期比
売上高	21,402	18,316	▲14.4%
国内	17,266	13,022	▲24.6%
海外	3,674	4,634	+ 26.1%
内部売上	461	659	+ 42.8%
営業利益 (営業利益率)	4,624 (21.6%)	3,892 (21.3%)	▲15.8%

■圧入工事業

【売上高】

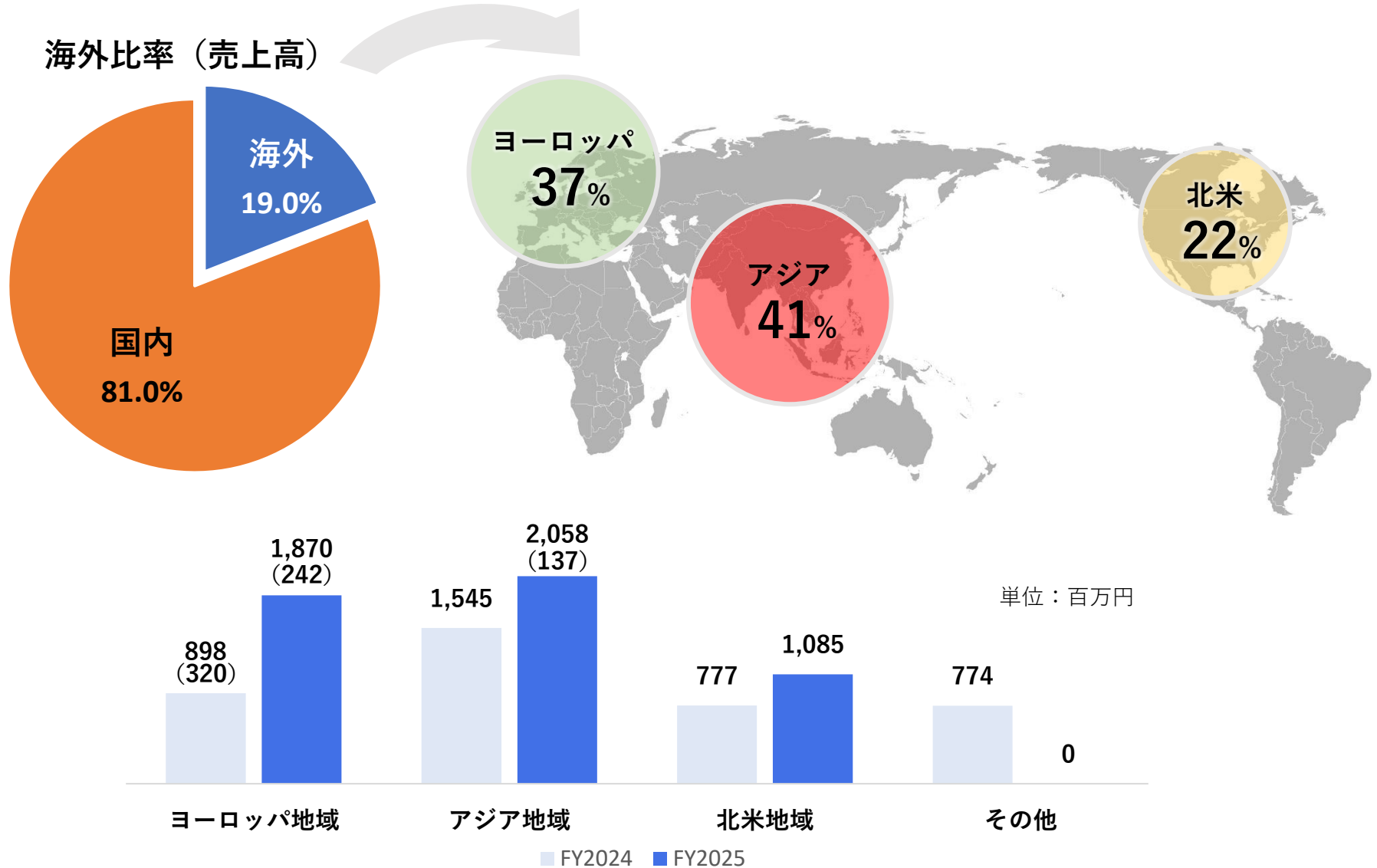
⊕国内は、能登半島地震の復旧工事や防災・減災、国土強靱化関連工事等を堅調に受注し、増収

【営業利益】

⊖付加価値の高い開発型案件の減少により売上総利益率が低下し、減益

単位：百万円

	FY2024	FY2025	前期比
売上高	8,683	8,842	+ 1.8%
国内	8,220	8,301	+ 1.0%
海外	320	379	+ 18.4%
内部売上	142	161	+ 13.2%
営業利益 (営業利益率)	1,161 (13.4%)	1,090 (12.3%)	▲6.1%



※ （）内は圧入工事事業売上高を内書きしたもの

連結業績概要－4Q（6～8月）

単位：百万円

	FY2024 4Q	FY2025 1Q	2Q	3Q	4Q	前期比
売上高	7,347	5,532	6,297	5,599	8,908	+21.3%
売上総利益	2,504	2,294	2,479	2,035	3,319	+32.5%
販管費	2,017	1,649	1,801	1,960	2,151	+6.7%
営業利益 (営業利益率)	486 (6.6%)	645 (11.7%)	678 (10.8%)	75 (1.4%)	1,167 (13.1%)	+139.8%
経常利益	450	679	666	93	1,293	+187.4%
特別損益	▲811	▲35	▲5	▲813 [※]	▲0	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	219	366	562	▲477	1,036	+372.7%
1株当たり純利益	8.21円	13.69円	20.99円	▲17.82円	38.88円	+373.6%

※ 元海外連結子会社との和解に伴い、訴訟関連損失および貸倒引当金繰入額を特別損失として計上

■建設機械事業

【売上高】

⊖国内は、一般機の販売が落ち込み減収

⊕海外は、GTOSS会員を中心に製品販売が進捗。過去最高水準の売上高を達成し、増収

・オランダ・デルタプログラム等での工法採用による市場拡大を受け、同国や北米のGTOSS会員に大型特殊機を販売。

韓国の子会社に4台目のジャイロパイラーを販売。イギリス最大のユーザーの子会社にも入れ替え需要でFシリーズの販売が進捗

・GTOSS非会員では、シンガポール、インドの新規参入ユーザーに大型特殊機など3台販売

【営業利益】

⊕海外売上高の伸長により増益

単位：百万円

	FY2024	FY2025				
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	前期比
売上高	5,919	3,881	4,503	3,396	6,534	+10.4%
国内	4,690	3,539	3,619	2,593	3,268	▲30.3%
海外	1,096	197	762	657	3,017	+175.3%
内部売上	132	144	121	145	248	+87.0%
営業利益	1,087	870	1,064	253	1,703	+56.6%
(営業利益率)	(18.4%)	(22.4%)	(23.6%)	(7.5%)	(26.1%)	

■圧入工事業

【売上高】

⊕国内は、能登半島地震で被災した港の復旧工事（石川県）や地すべり抑止杭工事（福井県）、エコサイクル設置工事（兵庫県）等の大型案件の進捗により増収

【営業利益】

⊕売上高増加に伴う売上総利益増により増益

単位：百万円

	FY2024 4Q	FY2025 1Q	2Q	3Q	4Q	前期比
売上高	1,578	1,808	1,960	2,411	2,661	+ 68.6%
国内	1,444	1,698	1,869	2,272	2,460	+ 70.4%
海外	116	96	44	75	162	+ 39.4%
内部売上	18	13	46	62	39	+ 116.3%
営業利益 (営業利益率)	34 (2.2%)	304 (16.8%)	201 (10.3%)	409 (17.0%)	174 (6.6%)	+ 402.5%

2026年8月期 業績予想

単位：百万円

通 期	FY2025 上期	FY2026 上期	増減率	FY2025 通期	FY2026 通期	増減率
売上高	11,829	13,500	+ 14.1%	26,337	27,800	+ 5.6%
営業利益 (営業利益率)	1,323 (11.2%)	1,350 (10.0%)	+ 2.0%	2,566 (9.7%)	2,900 (10.4%)	+ 13.0%
経常利益	1,345	1,400	+ 4.1%	2,732	3,050	+ 11.6%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	928	1,000	+ 7.7%	1,487 [※]	2,200	+ 47.9%
1 株当たり純利益	34.68円	38.82円	+ 11.9%	55.74円	87.76円	+ 57.4%

※ 元海外連結子会社との和解に伴い、訴訟関連損失および貸倒引当金繰入額計812百万円を特別損失として計上

単位：百万円

通 期	FY2025 上期	FY2026 上期	増減率	FY2025 通期	FY2026 通期	増減率
売上高						
建機事業	8,385	9,595	+ 14.4%	18,316	19,295	+ 5.3%
圧入事業	3,769	4,381	+ 16.2%	8,842	9,390	+ 6.2%
営業利益						
建機事業 (営業利益率)	1,935 (23.1%)	2,062 (21.5%)	+ 6.6%	3,892 (21.3%)	4,126 (21.4%)	+ 6.0%
圧入事業 (営業利益率)	506 (13.4%)	563 (12.9%)	+ 11.4%	1,090 (12.3%)	1,299 (13.8%)	+ 19.1%

(1) 全社－増収増益

◎建設機械事業、圧入工事事業ともに増収増益

(2) 建設機械事業－増収増益

【売上高】

⊕国内市場・海外市場ともに増収

国内は、引き続き建設コスト上昇やそれに伴う施工量の減少、技能労働者不足がユーザーの設備投資に影響するも、人手不足や現場ニーズに応える新機種投入で需要を喚起
海外は、各国・地域の市場拡大を受け、過去最高水準だった前期の売上高を上回る

【営業利益】

⊕売上高増に伴う売上総利益の増加により増益

(3) 圧入工事事業－増収増益

【売上高】

⊕国内市場・海外市場ともに増収

国内は、能登半島地震の復旧工事や防災・減災、国土強靱化関連工事を堅調に受注
海外は、ドイツにおけるオペレーター付きレンタルのニーズ拡大

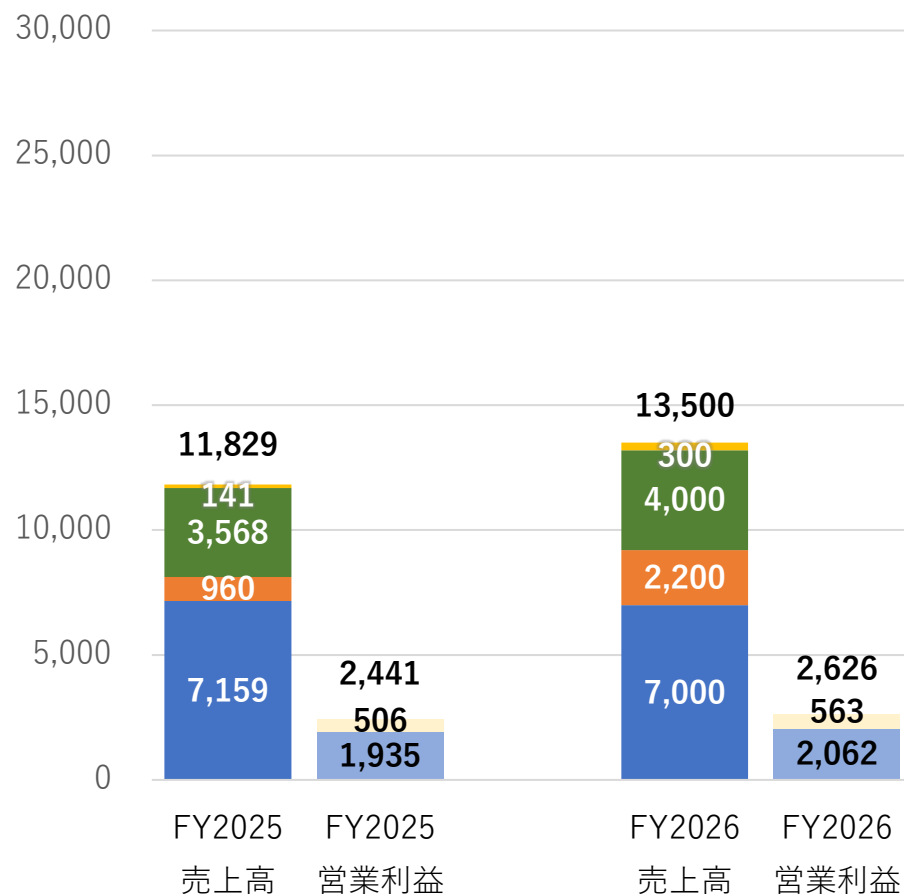
【営業利益】

⊕売上高増に伴う売上総利益の増加および開発型案件の増加による売上総利益率の改善で増益

セグメント、国内外別業績予想

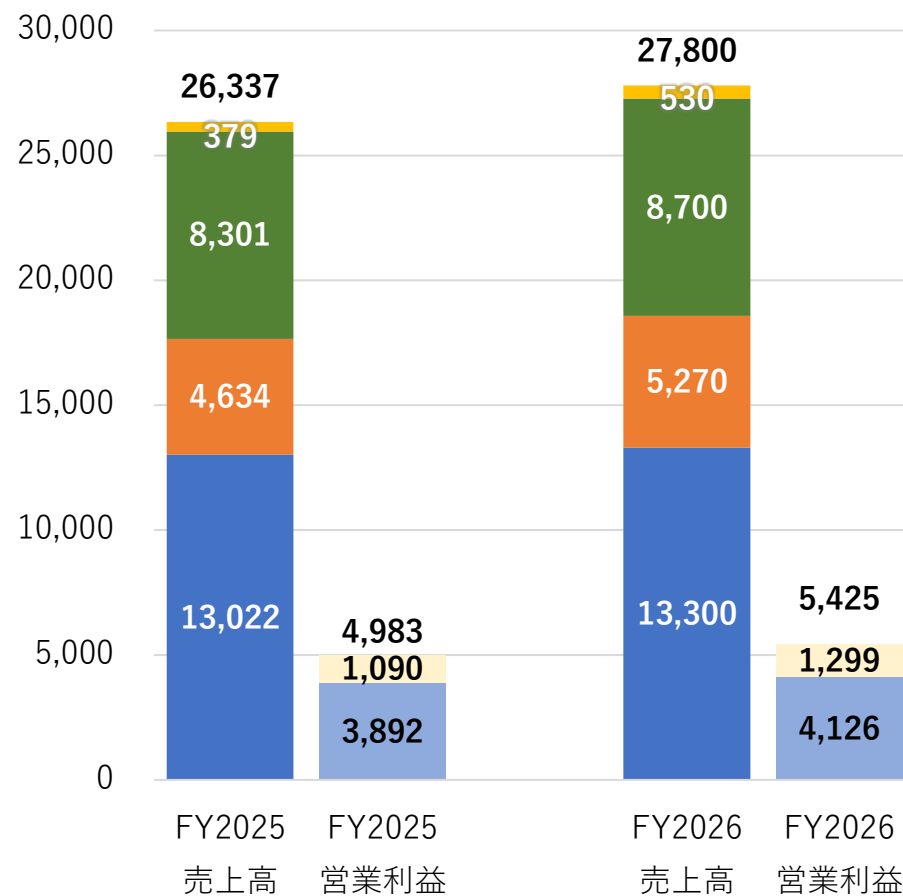
上期比較

単位：百万円



通期比較

単位：百万円



■ 建設機械事業（国内）
 ■ 建設機械事業（海外）
 ■ 圧入工事事業（国内）
 ■ 圧入工事事業（海外）

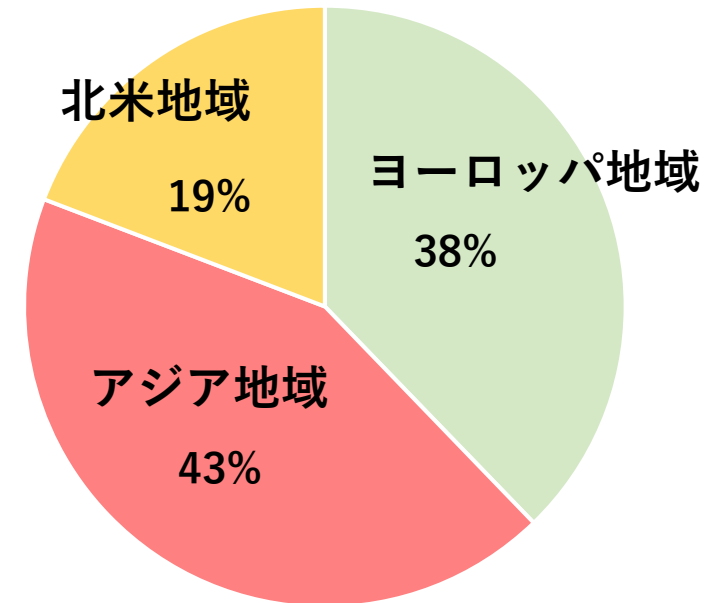
■ 営業利益（建設機械事業）
 ■ 営業利益（圧入工事事業）

※ 売上高は内部取引消去後、営業利益は単純合算

単位：百万円

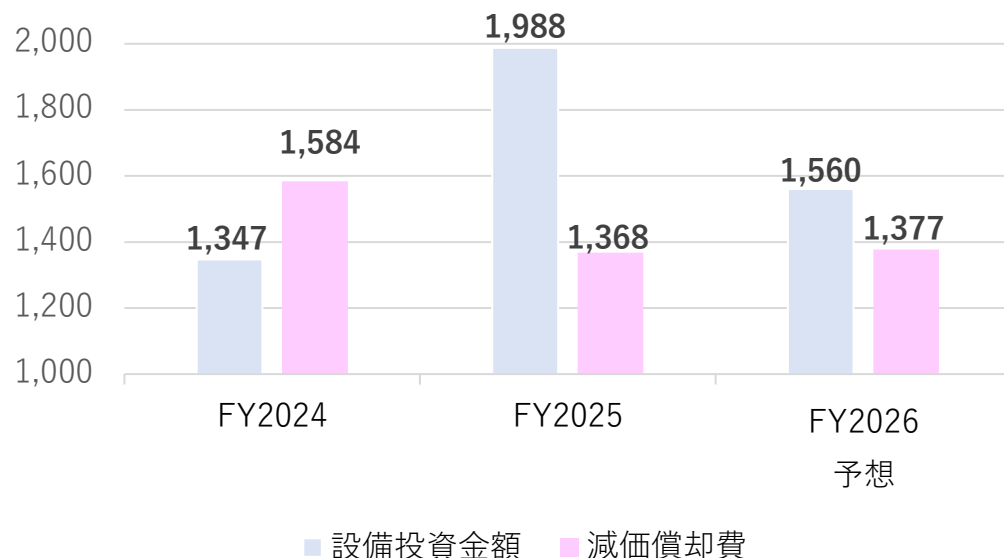
売上高	FY2025 実績	FY2026 予想	増減率
ヨーロッパ地域	1,870	2,174	+ 16.3%
アジア地域	2,058	2,506	+ 21.8%
北米地域	1,085	1,118	+ 3.1%
その他地域	0	0	—

FY2026売上高予想内訳



◎設備投資、減価償却費

単位：百万円



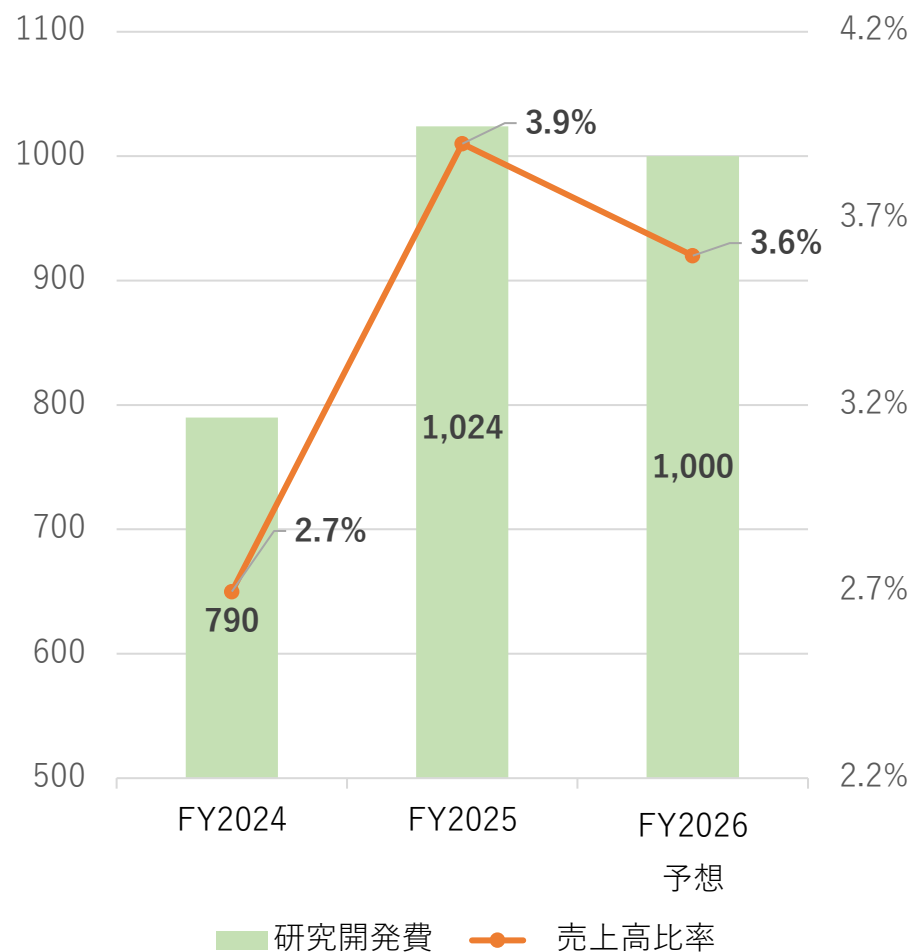
設備投資内訳

単位：百万円

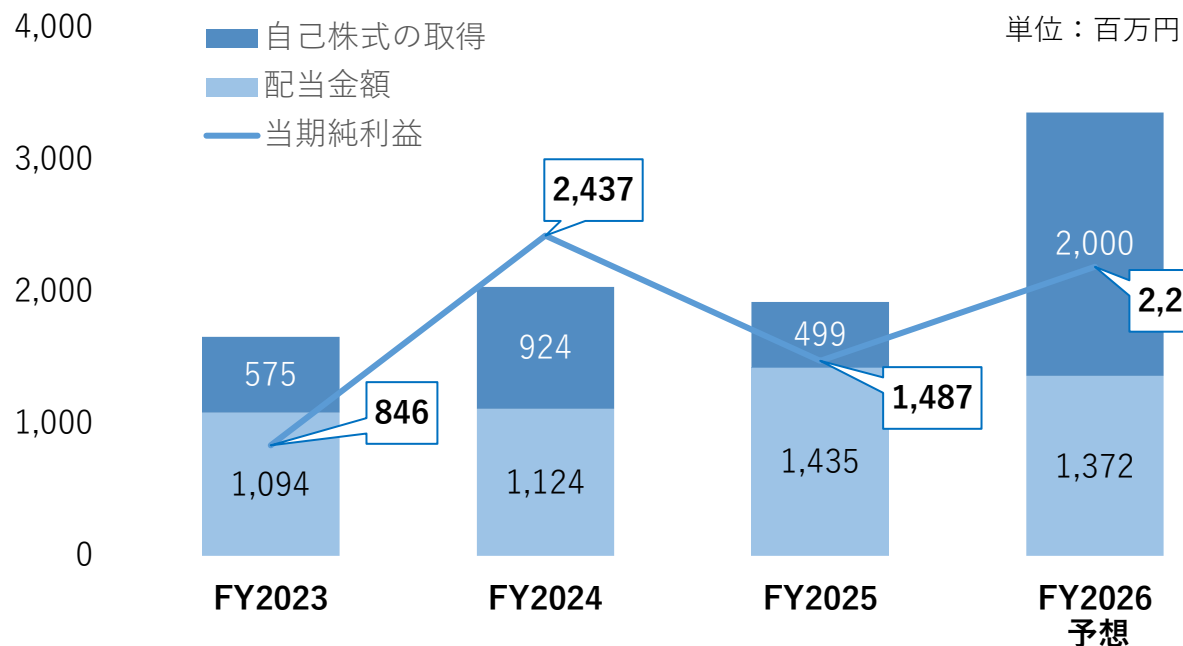
	FY2024	FY2025	FY2026 予想
レンタル・デモ機用	604	1,310	740
事務所・工場等施設	309	185	16
その他	432	493	804
合計	1,347	1,988	1,560

◎研究開発費

単位：百万円



株主還元



FY2026の配当予想

中間配当 **27円**

期末配当 **27円**

当期純利益（百万円）	846	2,437	1,487	2,200
1株当たり純利益（円）	30.82	90.99	55.74	87.76
1株当たり配当額（円）	40	42	54	54
配当総額（百万円）	1,094	1,124	1,435	1,372
純資産配当率[DOE]（%）	2.7	2.8	3.6	3.5
配当性向（%）	129.8	46.2	96.9	61.5

■FY2026からの配当方針

- ・安定配当を目標

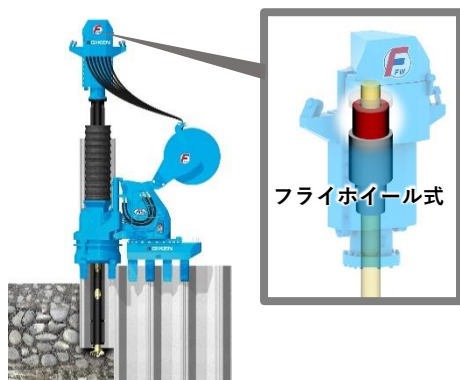
※配当性向は40%を目安としつつ、
DOE3.5%を下限指標とする

- ・機動的な自己株式取得の実施

トピックス

FY2025の実績

- 硬質地盤クリア工法（フライホイール式パイルオーガ）が国土交通省NETIS「推奨技術」に認定
- ハット形鋼矢板900mm幅の硬質地盤圧入が「令和7年度版国土交通省土木工事積算基準」に掲載
→ 沖縄県でハット形鋼矢板対応機「サイレントパイラー F301」のレンタルスタート
- 能登半島地震、奥能登豪雨の被災地で継続的に工法採用。迅速な復旧に貢献



NETIS「推奨技術」に認定



国交省の土木工事積算基準に掲載
発行: (一財) 建設物価調査会



沖縄県でF301のレンタルスタート



石川県輪島市市ノ瀬町の災害復旧工事

今後の見通し

- NETIS認定を追い風にした硬質地盤クリア工法（フライホイール式パイルオーガ）の普及促進
- 市場拡大余地の大きい硬質地盤市場を開拓する新製品の投入
- 技能労働者不足の解消に資する新製品の投入

■制度の目的

意欲的なユーザーとともに最優先課題である「市場形成」を推進

- 工法技術提案活動で連携強化。市場開拓→会員の収益向上→製品需要拡大の好循環を実現
- 一般ユーザー未開放の工法（ジャイロプレス工法、GRBシステム等）を提供し、市場開拓を加速
→機械レンタルや部品、消耗品等の販売により安定的な売上、利益を確保



GTOSS会員数の推移

地 域	FY2024	FY2025	内 訳
ヨーロッパ	0社	6社	オランダ：2社 ドイツ：2社 イギリス：1社 イタリア：1社
アジア	8社	10社	シンガポール：9社 韓国：1社
北米	0社	3社	米国：3社



イギリスのGTOSS会員・Ivor King (C.E.C.) Ltd.
による圧入施工の様子

FY2025の実績

- オランダ・世界遺産運河の護岸改修PJで商業化フェーズの圧入工事が好調にスタート
- 同国・デルタプログラムの堤防工事で工法採用。9月よりジャイロパイラー等で鋼管杭と鋼矢板の複合壁体を構築
- 世界最大の建機見本市「bauma2025」（ドイツ）に出展し、圧入技術をアピール。見込み客を獲得



世界遺産運河の護岸改修PJ
商業化フェーズも好調なスタート



デルタプログラム（KIJK工区）の施工イメージ



「bauma2025」の当社ブースで
行われたデルタプログラムのPJ協定調印式

今後の見通し

- デルタプログラムの堤防工事で、オランダのGTROSS会員にジャイロパイラーをレンタル提供。
イタリアの会員にGRBシステムのレンタルスタート
- ジャイロプレス工法の採用拡大を見込み、Giken Europe B.V.にジャイロパイラーを増車
- ドイツでオペレーター付きレンタル拡大。加えて、工事請負による収益向上を見据える

FY2025の実績

- シンガポールのGTOSS会員に3台目のジャイロパイラー販売。施工実績を重ね、工法採用続く
- 韓国のGTOSS会員に4台目のジャイロパイラーを販売。ジャイロプレス工法の市場が拡大
- インドのプレキャストコンクリ製造大手と連携協定を締結。連絡事務所を設置し案件の具現化に向けた活動を開始



シンガポールのジャイロプレス工法採用現場



連携協定を結んだ Fuji Silvertch Concrete Private Limited Managing Director のBrijesh Shah 氏（中央左）、当社代表取締役社長CEO 大平厚（中央右）

今後の見通し

- シンガポールの空港整備事業等でハット形鋼矢板対応機のニーズ拡大
- 香港でサイレントパイラーが先進技術として政府補助金の対象に認定。プロモーションを強化
- バングラデシュの地下鉄ODA事業で現地の施工会社から引き合い多数。提案活動に注力

FY2025の実績

- 米国・ニュージャージー州に営業所を開設。東海岸北部地域をターゲットに工法技術提案活動をスタート
- 米国のGTOSS会員との協働の結果、同会員が米国初となるジャイロプレス工法の採用案件を受注
- 上記会員に対して技術指導を実施。ジャイロパイラーのレンタル機を配備し、レンタルをスタート



ニュージャージー営業所の所在地



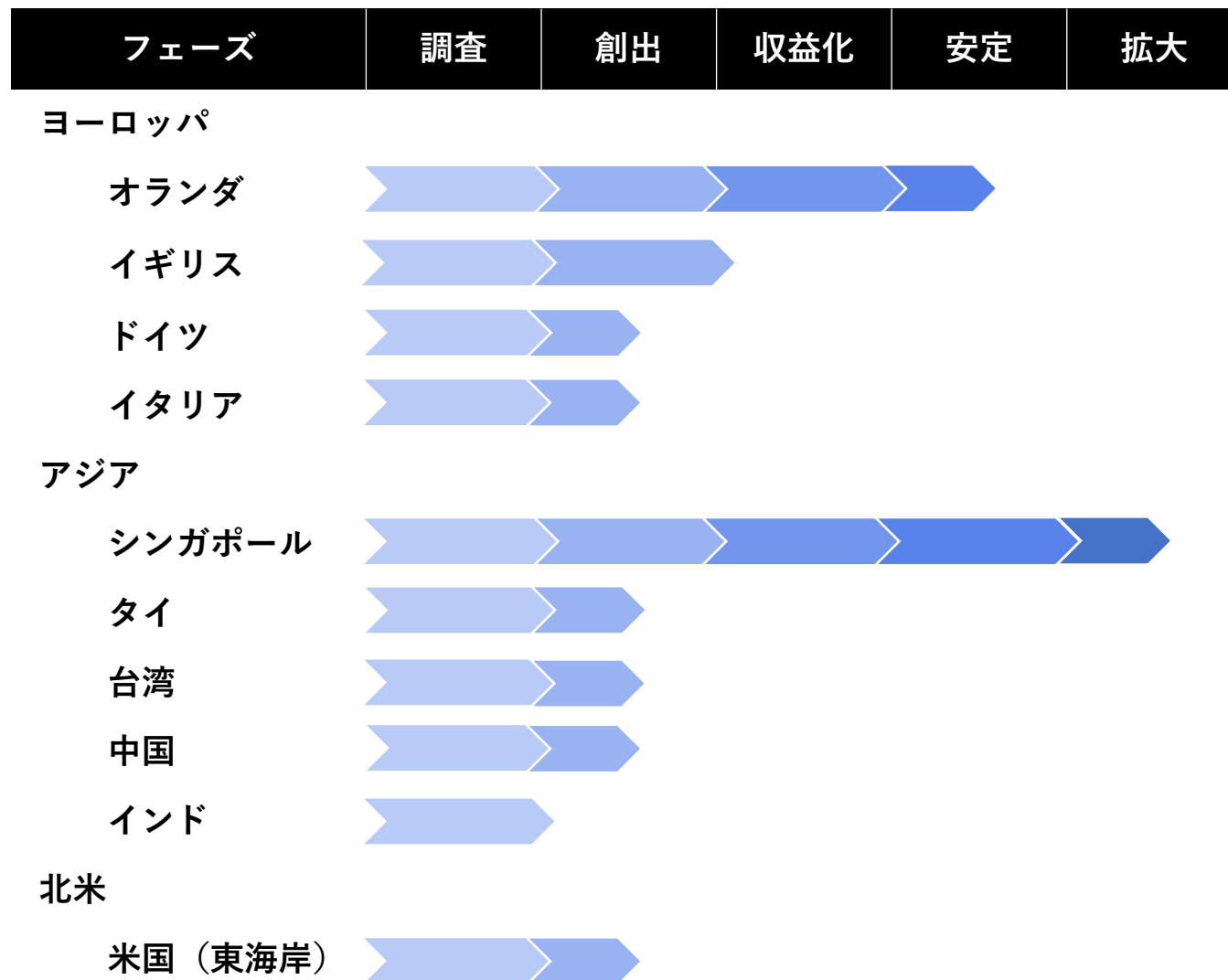
ニュージャージー営業所のある
ホーボーケンリバーフロントセンター



米国に配備されたジャイロパイラー

今後の見通し

- 有力な設計コンサルが集中するニューヨーク州、ニュージャージー州で工法技術提案に注力
- ジャイロプレス工法の現場を成功に導き、施工実績を構築。同工法の市場拡大を推進
- インフラ整備等の公共建設投資は堅調に推移する見通し。ただし工法普及に時間を要する見込み



各フェーズ概要

【調査】

ターゲット市場の国・地域におけるビジネス化の可否を調査する段階

【創出】

リソースを投じて圧入市場の形成に着手。併せてパートナー企業を選定する段階

【収益化】

選定したパートナー企業に対して機械や技術指導等を提供し、収益化を実現する段階

【安定】

パートナー企業との連携によって圧入市場が安定形成され、複数の機械が稼働している段階。保守機能や提供工法等も充実され、持続的に収益を生んでいる

【拡大】

パートナー企業の増加や提供工法の一層の充実により、市場形成が加速。収益が拡大している段階

FY2025の実績

国内外のエンジニアを養成する「圧入道場」を運用開始

- 関西工場（兵庫県丹波市）敷地内に整備し、教育カリキュラムを策定
- 海外ユーザーや海外グループ会社のナショナルスタッフを受け入れ
- 実機を用いて圧入技術の知識や操作、保守技術などを短期教育



実機やシミュレーターを用いた研修を受ける海外エンジニア

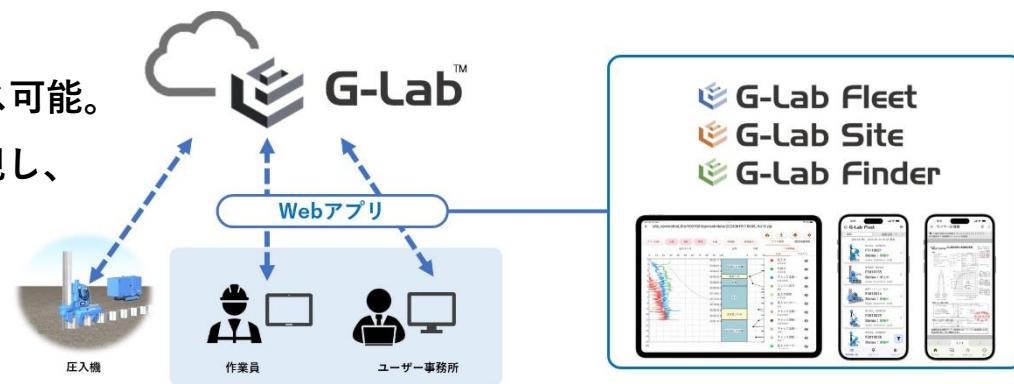
今後の見通し

- 各国の海外ユーザーを招き、エンジニアの施工・保守技術をレベルアップ。圧入技術の優位性を100%発揮できる人材を育成し、施工実績の構築や他工法との差別化を促進
- 国内においても、顧客課題であるオペレーター等の人材育成を後押し。新規導入のハードルを下げ、工法普及を促進

FY2025の実績

ユーザーの現場改革を推進するDXアプリ「G-Lab」（ジーラボ）シリーズをリリース

- 圧入施工に関する情報を一元管理できる当社のクラウド型データプラットフォーム「G-Lab」と連動
- 機械管理アプリ「G-Lab Fleet」（ジーラボ フリート）、現場管理アプリ「G-Lab Site」（ジーラボ サイト）、技術情報検索アプリ「G-Lab Finder」（ジーラボ ファインダー）の3種をリリース
- 施工中の機械の状態や現場の進捗状況、蓄積された施工データや技術情報に、Webから手軽にアクセス可能。迅速な情報共有、円滑なコミュニケーションを実現し、現場の意思決定を支援

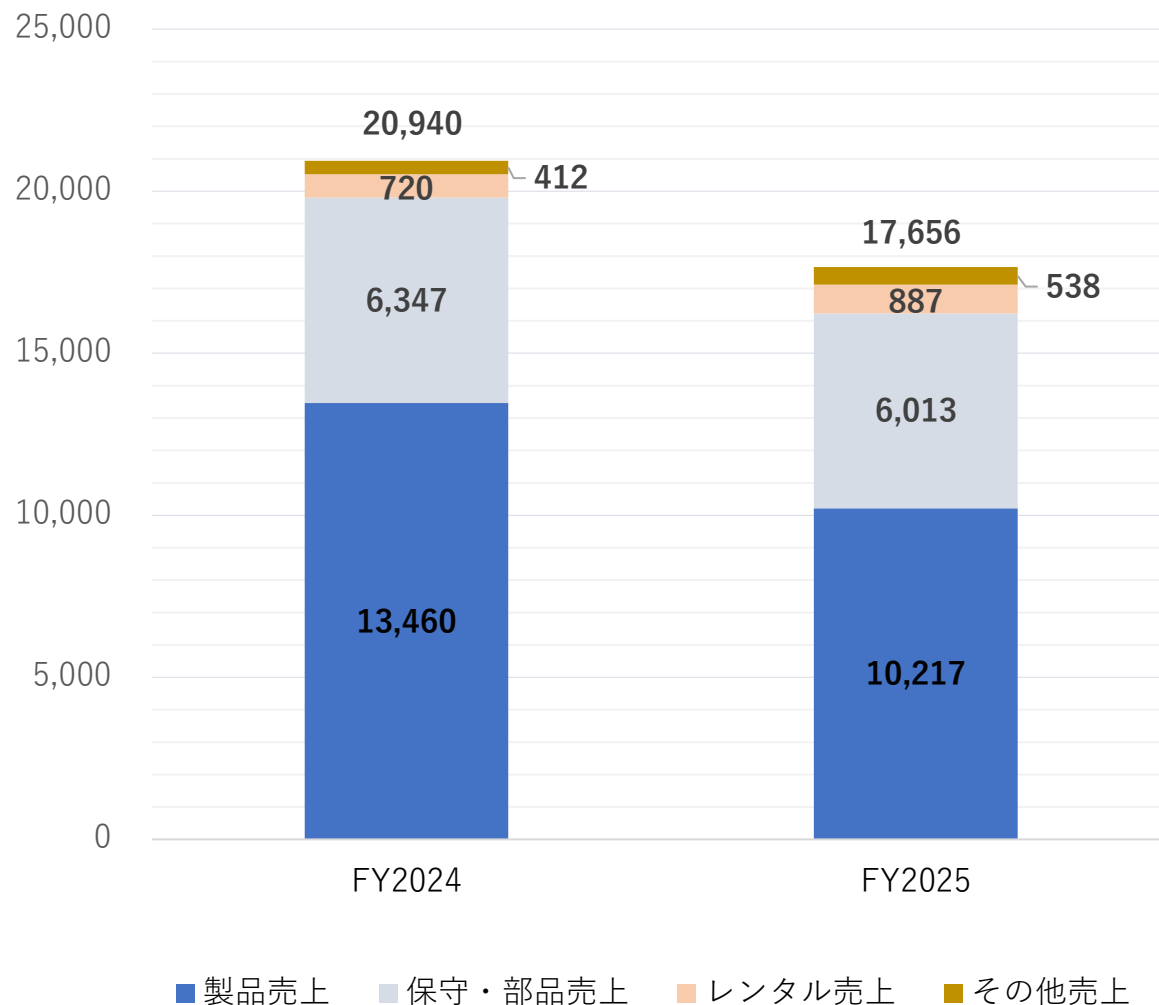


今後の見通し

- デジタル技術を活用することで経営や工事に関わるプロセス全体の合理化、最適化につながる画期的なソリューションを提供
- 3種のアプリはG-Labシリーズの第一弾。今後もユーザーニーズに応じた機能やサービスを展開

參考資料

単位：百万円



【製品売上】

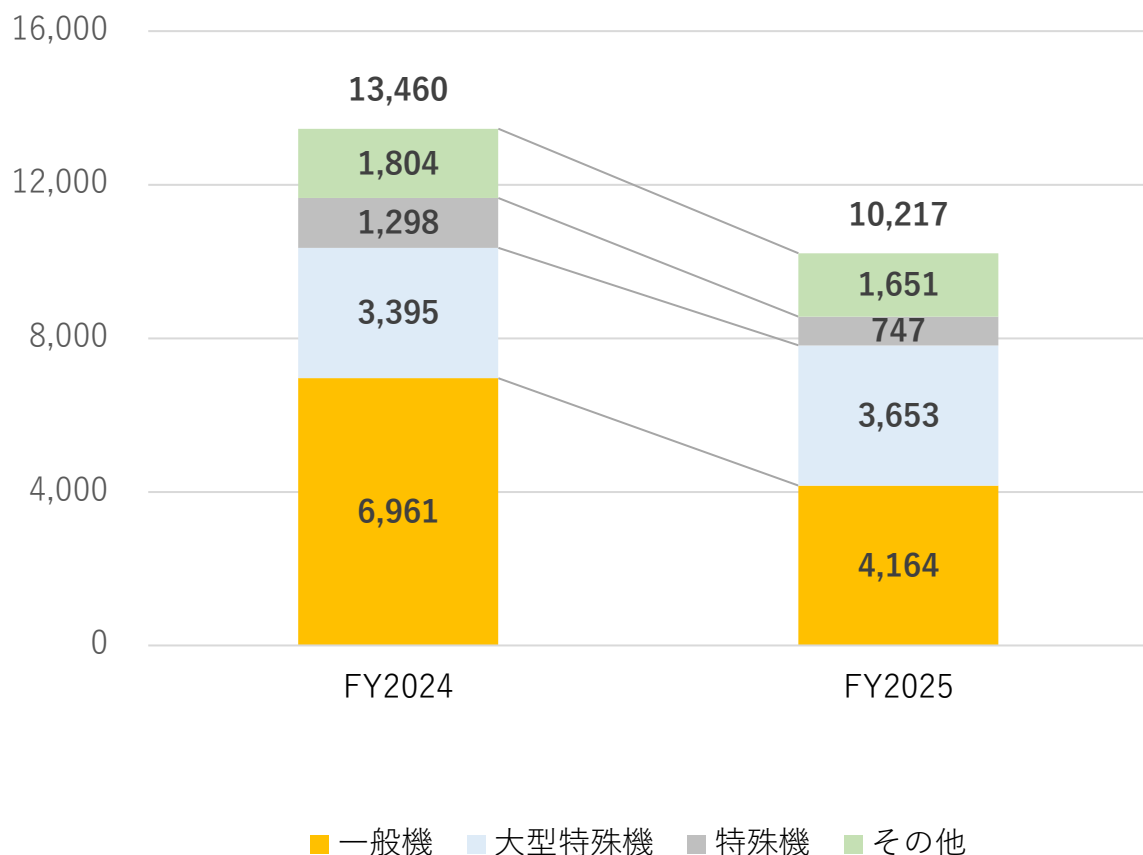
国内において、建設コスト上昇やそれに伴う施工量の減少、技能労働者の不足がユーザーの設備投資を冷え込ませ、一般機の販売への影響が顕在化。海外では、GTOSS会員を中心に製品販売が進捗

【保守・部品売上】

施工量の減少を受け、ジャイロプレス工法に用いる部品（リングビット）の販売が減少

製品区分別出荷額推移

単位：百万円



特殊機（例：CL70、JZ100）

超低空頭対応圧入機
ゼロ矢板圧入機
GRBシステム など

大型特殊機（例：F301、F401）

900mm幅ハット形鋼矢板対応機
回転切削圧入機（ジャイロパイラー）
鋼管矢板対応圧入機 など

一般機（例：F101、F112、F201）

400mm幅U形鋼矢板対応機 など

連結決算業績資料



単位：百万円

	FY2024 1Q	2Q	3Q	4Q	通期	FY2025 1Q	2Q	3Q	4Q	通期	FY2026 通期予想
売上高	7,418	8,117	6,598	7,347	29,481	5,532	6,297	5,599	8,908	26,337	27,800
売上総利益	3,000	3,009	2,354	2,504	10,867	2,294	2,479	2,035	3,319	10,129	10,700
販管費	1,801	1,789	1,934	2,017	7,543	1,649	1,801	1,960	2,151	7,563	7,800
営業利益 (営業利益率)	1,198 (16.2%)	1,219 (15.0%)	420 (6.4%)	486 (6.6%)	3,324 (11.3%)	645 (11.7%)	678 (10.8%)	75 (1.4%)	1,167 (13.1%)	2,566 (9.7%)	2,900 (10.4%)
経常利益	1,265	1,324	542	450	3,582	679	666	93	1,293	2,732	3,050
親会社株主に帰属する 当期純利益	872	977	368	219	2,437	366	562	▲477※	1,036	1,487	2,200
1株当たり 純利益	32.49円	36.51円	13.78円	8.21円	90.99円	13.69円	20.99円	▲17.82円	38.88円	55.74円	87.76円

※ 元海外連結子会社との和解に伴い、訴訟関連損失および貸倒引当金繰入額計812百万円を特別損失として計上

連結決算業績資料



単位：百万円

	FY2024 1Q	2Q	3Q	4Q	通期	FY2025 1Q	2Q	3Q	4Q	通期	FY2026 上期予想	下期予想	通期予想
建設機械事業													
売上高	5,388	5,899	4,195	5,919	21,402	3,881	4,503	3,396	6,534	18,316	9,595	9,700	19,295
国内	4,413	4,793	3,368	4,690	17,266	3,539	3,619	2,593	3,268	13,022	7,000	6,300	13,300
海外	866	1,013	698	1,096	3,674	197	762	657	3,017	4,634	2,200	3,070	5,270
内部売上	108	92	128	132	461	144	121	145	248	659	395	330	725
営業利益 (営業利益率)	1,518 (28.2%)	1,467 (24.9%)	552 (13.2%)	1,087 (18.4%)	4,624 (21.6%)	870 (22.4%)	1,064 (23.6%)	253 (7.5%)	1,703 (26.1%)	3,892 (21.3%)	2,062 (21.5%)	2,063 (21.3%)	4,126 (21.4%)
圧入工事事業													
売上高	2,185	2,352	2,567	1,578	8,683	1,808	1,960	2,411	2,661	8,842	4,381	5,008	9,390
国内	2,061	2,247	2,467	1,444	8,220	1,698	1,869	2,272	2,460	8,301	4,000	4,700	8,700
海外	76	63	64	116	320	96	44	75	162	379	300	230	530
内部売上	47	42	35	18	142	13	46	62	39	161	81	78	160
営業利益 (営業利益率)	299 (13.7%)	338 (14.4%)	488 (19.0%)	34 (2.2%)	1,161 (13.4%)	304 (16.8%)	201 (10.3%)	409 (17.0%)	174 (6.6%)	1,090 (12.3%)	563 (12.9%)	735 (14.7%)	1,299 (13.8%)



オンリーワンの技術で 人命・財産・文化を未来につなぐ





Construction Revolution

Implant Method Changes Worldwide Construction